



札教生第 476 号

平成 27 年（2015 年）12 月 15 日

札幌市 P T A 協議会

会長 川端 美樹 様

札幌市教育委員会

教育長 長岡 豊彦



平成 28 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

初冬の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 27 年 10 月 27 日付けで提出がありました標記の要望書につきまして、別紙のとおり回答いたします。

札幌市PTA協議会

「平成 28 年度札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

関係課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【少人数学級に関して】	
<p>1 落ち着き、安心して学べる環境作りのため、小中学校全学年において少人数学級の早期実施を切望いたします。</p>	<p>少人数学級につきましては、これまでも、国及び北海道教育委員会に対して要望しているところであります。</p> <p>今後も国や北海道教育委員会の動向を注視しつつ強く要望していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p>
【教員に関して】	
<p>1 少人数指導の実現を図るため、教職員・加配教員（TT）の増員を希望いたします。</p> <p>2 専門的な視野からの指導充実のため、小学校における専門教科教員の増員を希望いたします。</p>	<p>1 加配教員の配置につきましては、北海道教育委員会の基準により行っております。</p> <p>各学校の事情を踏まえ、北海道教育委員会に加配を要望しており、今後とも強く要望していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p> <p>2 教員の配置につきましては、北海道教育委員会の定めた教職員定数配置基準により行っております。</p> <p>なお、今年度は専科加配として理科で2名・外国語（英語）で2名を配置しています。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p>
【英語教育に関して】	
<p>1 英語教育の充実とコミュニケーション能力の向上のため、ALT派遣時間の増加と増員を希望いたします。</p>	<p>本市のALT（外国語指導助手）につきましては、毎年、計画的に増員を進め、平成 27 年度は、補正予算の配当により年度途中から 15 名を増員し、総数 93 名となっております。</p> <p>小学校については、教員を対象とした研修等の実施により、ALTのより効果的な活用を図っているところであります。</p> <p>中学校については、通年配置校を 6 校から 16 校に増加したところであります。</p> <p>今後につきましても、小学校及び中学校におけるALTの活用の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（研修担当）</p>

【スクールカウンセラーに関して】	
1 問題の早期対応のため、スクールカウンセラーの拡充、常勤化を希望いたします。	<p>スクールカウンセラーについては、早期からの相談を充実するため、小学校への配置が少なくとも週1回の勤務ができるよう、今後、段階的に配置時間の拡充に努めて参ります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（児童生徒担当）</p>
【特別支援に関して】	
1 支援を必要とする児童生徒にすみやかに対応するため、支援学級の設置及びまなびの教室の増設を希望いたします。	<p>障がいのある児童生徒が、できるだけ身近な地域で専門的な教育を受けられる環境づくりを目指し、対象児童生徒の増加に合わせて、特別支援学級の整備を進め、現在、小・中学校の7割以上に設置しており、引き続き、開設を進めます。</p> <p>また、発達障がいに対応した「まなびの教室」は、平成21年から順次を増設しており、現在、小学校8校、中学校3校に設置しており、今後も教室の整備・拡充を進めます。</p> <p>なお、通級指導教室の教員は、国から都道府県に対して定数に加えて措置される、いわゆる加配となっており、計画的な教室の拡充は困難な状況であることから、今後も、まなびの教室の拡充のため、加配教員の更なる配置について、国に要望してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p>
【学びのサポーター・相談支援パートナーに関して】	
1 支援を必要とする児童生徒が年々増加していることから、学び・相談支援パートナーの増員と、更なる利用時間の拡大を希望いたします。	<p>(学びのサポーターに関して)</p> <p>学校生活上の支援を必要とする児童生徒に対しては、「学びのサポーター」の活用が大変、効果的です。</p> <p>これまで全ての小・中学校に配置可能な予算の確保や、活用時間数等も各学校の実情に応じて弾力的な運用に努めてきたところです。</p> <p>今年度からは、1校あたりの年間活用時間数を今後4年間で段階的に増加することや、肢体不自由児への身体介助を専門に行う介助アシスタントを新設したこと、さらに市立高校への配置を開始したことにより、校内支援体制をより一層充実しております。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p>

	<p>(相談支援パートナーに関して)</p> <p>相談支援パートナーにつきましては、各学校の支援体制の下、不登校状況の子どもに対して、よりきめ細かな支援を実施しており、不登校状況の改善に効果をあげていることから、今後も、各学校の状況に応じた効果的な運用の在り方等について工夫・改善を図りながら、運用時間の拡充を目指してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課 (教育相談担当)</p>
<p>【学校図書に関して】</p>	
<p>1 子どもたちの読書意欲向上のため、司書の配置を希望いたします。</p>	<p>平成 25 年度から中学校 1 校に学校司書を配置してきましたが、平成 27 年 10 月から中学校 10 校に配置しています。今後、中学校全校への配置を目指し、段階的に学校司書の配置を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課 (教育課程担当)</p>
<p>【スキー授業、校外学習に関して】</p>	
<p>1 家庭や学校の経費負担を軽減するため、スキー授業および校外学習への援助を希望いたします。</p>	<p>校外における体験活動は、子どもたちに社会性や豊かな人間性等を育む上で大変有効な活動であると考えております。</p> <p>平成 26 年 4 月に国が定めた新運賃・料金制度や、貸切バスの減便等によってバスの確保が困難になっていることについて、学校は大変苦慮しているところでありますが、札幌市の財政状況から、経費的支援は難しいため、保護者様の負担増に配慮し、計画的に実施するよう各学校に働きかけてまいります。</p> <p>なお、スキーリサイクル事業につきましては、市民から提供いただくスキーセットの回収数を増やすため、回収協力いただく業者との交渉を継続するなどして、事業の拡充に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課 (教育課程担当)</p>
<p>【武道に関して】</p>	
<p>1 専門知識を持った外部サポーターの積極的な導入など、武道学習の安全性の確保を希望いたします。</p>	<p>柔道をはじめとする武道の授業を安全に実施するため、柔道指導の専門家等を講師とする実技講習も含めた研修会を行うとともに、柔道等の事故防止に向けた通知を複数発出し安全管理の徹底を図っているところです。</p> <p>また、武道の授業における外部人材の活用につきましては、関係団体との情報交流を行ってきており、今後の連携の在り方等について検討を進めているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課 (教育課程担当)</p>

【部活動に関して】	
1 部活動の更なる充実を図るため、部活動指導者の待遇改善と外部顧問の増員を希望いたします。	<p>外部指導者については、各学校において必要に応じて確保し、教育委員会としても、傷害保険を適用するなど支援をしているところです。</p> <p>また、今年度から顧問がいなくても土日の活動ができる特別外部指導者の制度を新設し、次年度以降も拡充に努めて参ります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（児童生徒担当）</p> <p>教員に対して支給する部活動の指導に関する手当は、北海道で定めた条例、規則等に基づいて支給しており、平成27年1月より手当額が改定されております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課</p>
【いじめ問題に関して】	
1 いじめ根絶のため、調査回数の拡大など取り組みの強化を希望いたします。	<p>いじめの問題については、未然防止と早期発見、早期対応が重要であり、各学校においては「悩みやいじめに関するアンケート調査」の実施などをおして、いじめの早期発見、早期対応に努めているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（児童生徒担当）</p>
【安全・安心に関して】	
1 安心して通学できるよう季節に応じた通学路の安全確保を希望いたします。	1 道路管理者や警察等の関係機関に対して、通学路の状況に応じた安全対策を講じるよう、引き続き要請していくなど、通学路の安全確保に向けた取組みを続けてまいります。
2 多種多様な犯罪が増加しているなか、安全な学校生活を送れるよう、防犯カメラの設置を希望いたします。	2 学校における防犯カメラについては、不審者への対策や施設の器物損壊が相次ぐなどの場合に設置しております。当面は、これまでと同様に、学校からの相談に個別に対応していくことを考えております。
	学校施設課
	学校施設課
【幼稚園に関して】	
1 働く人だけでなく誰もが利用しやすくなるよう、預かり保育料の見直しを希望いたします。	<p>全区(清田区を除く)実施から1年半が経過し、各園の利用実績等を検証しているところです。</p> <p>幼児や保護者にとってより良い預かり保育になるよう、引き続き検証を続けてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（幼児教育センター担当）</p>

【子どもの居場所づくりに関して】

1 利用する児童の安全面を考えて、全校の校内にミニ児の開設を希望いたします。

札幌市は、1中学校区に1館を基本として児童会館を整備し、校区内に児童会館のない小学校には、余裕教室等を活用したミニ児童会館を整備してきたことにより、平成27年度現在、児童会館104館、ミニ児童会館94館を整備しています。

今後は、小学校の改築とあわせて、既存の児童会館及びミニ児童会館を、小学校と複合化した新しい児童会館として再整備していきます。

子) 子ども企画課

(2)施設設備に関して

【学校設備に関して】

1 子ども達の健康に配慮したトイレの洋式化及び全個室化を希望いたします。

1 現在、トイレは全面改修により、「暗い・臭い・汚い」という、いわゆる3Kの解消と同時に洋式化を図っておりますが、今年度から、便器の洋式化のみの改修も取り入れ、洋式化のスピードアップを図っているところです。個室化につきましては、コストやスペースの問題があり、現時点では考えておりません。

学校施設課 (整備保全担当)

2 避難場所として誰もが安全かつ円滑に利用できるようにするため、トイレのバリアフリー化を希望いたします。

2 改築やトイレの全面改修の際、多目的トイレの整備を行っているほか、車いすを使用する児童生徒が転入学した際には、その都度整備を行っております。

学校施設課 (整備保全担当)

(3)予算に関して

【教育関連予算に関して】

1 教育活動に支障をきたさないためにも、予算の維持・増額を希望いたします。

本市の厳しい財政状況の中、教育委員会としても、より充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保のため、関係機関に働きかけていきます。その際には、貴協議会や教育現場等からの御意見を反映させたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願いします。

総務課

【読書活動推進事業に関して】	
<p>1 児童生徒に豊かな読書環境を提供するため、読書活動推進事業に係る予算の維持・増額を希望いたします。</p>	<p>本市の厳しい財政状況の中においても、子どもたちの読書活動を活発なものとするよう、今後も必要な予算の維持、確保に努め、学校図書館の蔵書充実を図ってまいります。</p> <p>また、地域に学校図書館を開放する「学校図書館地域開放事業」をさらに進め、子どもと地域の読書活動の推進及び相互交流を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">学校施設課 生涯学習推進課</p>
【PTA活動に関して】	
<p>1 現状の基盤維持および強化のため、今年度と同様の助成を希望いたします。</p>	<p>貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連携による教育力向上の取組、子どもの健全育成のための諸事業は、本市の社会教育施策に大きく寄与しており、今後も、その支援を継続してまいりたいと考えております。</p> <p>一方で、本市の財政状況も厳しさを増しておりますことから、今後、自主財源の確保や組織運営の効率化などの財政基盤の強化について、貴協議会の御協力をいただきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">生涯学習推進課</p>